

(公財)京都市都市緑化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
----------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	建設局みどり政策推進室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	業務全般について、公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。特に指定管理事業では、施設活性化を一層図り利用料金収入の増加を目指す。
財務面	平成27年度以降は京都市からの事業補助金が廃止されることを前提に、事業収益や寄附金の増収、経費の節減、公益法人の優遇税制の活用により、公益目的事業の基盤を確保、強化する。
組織面	平成26年度現在1名となっている京都市からの派遣職員（常勤役員兼務）を平成26年度末に廃止するため、固有職員の人材育成を進め、京都市との連携態勢を築く。
その他	京都の「緑の文化」の発信等の事業について、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の団体との連携・協力関係を一層広げる。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	平成27年度は、補助金及び常勤役員兼務の本市職員の受入れを廃止し、自律化に向けた取組を大きく進めるとしている。自律化の達成のためには、公益性を確保しつつ、指定管理者となっている2公園の利用料金や自主事業の増収を図るなど、安定的な財源を確保する必要がある。
-----	---

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	平成27年度は、補助金の全廃と常勤役員兼務の京都市職員の受入れを廃止し、自律化に向けて大きく踏みだした。業務面では、特に開園20周年と京都鉄道博物館の開業を控えた梅小路公園で事業の拡充や施設の改善を図った。また、和の花を活用した団体・企業との連携を進め、みどりのネットワークの拡大に取り組んだ。財務面では補助金の全廃を、新たな受託事業収益や利用料金の増加等で補い、さらに光熱水費の削減や効率的な運営等を行うことで、積極的な公益目的事業の実施や梅小路公園の設備改修費用等の財源を確保しながらも、黒字を達成することができた。
所管局(※)	平成27年度は、本市からの事業補助金が全廃となったが、受託事業の拡大や公園収益事業の増収がこれを補い、経常収益計は前年度を上回った。費用面では事業量の増加に伴い修繕費、委託費等の増加につながった一方で、光熱水費の削減、人件費の抑制及び優遇税制の活用等により、4期連続で当期一般正味財産増減額の黒字を確保したことは評価できる。公益目的事業においては、京都市緑の基本計画及び第1次京（みやこ）のみどり推進プラン等に基づく活動を推進し、自然体験活動、稀少植物の保全に関する企業、団体とのネットワーク事業、公園を活かした緑のイベントの開催等に取り組んだ。 このうち指定管理業務においては、梅小路公園での京都鉄道博物館の開業をにらみ、京都駅から公園の周辺エリアのエリアマネジメントの機運が高まっていることから、公園施設管理者、関係機関、周辺企業等との連携に努めた。
外郭団体総合調整会議(※)	本市からの職員派遣や補助金に頼らない団体運営を実現しており評価できる。引き続き運営体制の強化に取り組んでいただきたい。

(公財)京都市都市緑化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標1 「公園施設の利用拡大」

中期経営計画 における取組	平成27年に開園20周年を迎える梅小路公園においては、京都の緑の文化を発信する季節感に富むイベントの実施、京都水族館や平成28年開業予定の京都鉄道博物館等公園施設との連携、及び近隣ホテル等への積極的な営業活動により、利用者数を増やす。 宝が池公園子ども楽園においては、平日に家族連れが滞在しやすい場所づくり等により、利用者数を増やす。
------------------	--

当年度目標	平成27年度に開園20周年を迎える梅小路公園では、魅力的な記念事業の実施、サイトのリニューアル、広報誌を使ったPR、パンフレット・イベント案内の近隣ホテルや関連施設等への配架依頼等によりニーズの発掘に努め、利用者の増加につなげる。 宝が池公園子ども楽園の駐車場では、利用者の少ない平日の稼働率をあげるため、平日の未就学児を対象としたプログラムを拡充する。
-------	--

当年度結果 (※)	梅小路公園では、開園20周年事業の一環として実施した「朱雀の庭」を活用した野外いけばな展や、リニューアルしたパンフレットの関連施設等への配架等により積極的な集客に努めた。 宝が池公園子ども楽園では、幼児を対象とした「けむんぱくらぶ」等の平日開催のイベントを中心に、子ども・家族向けイベント等の事業の充実にも努めた。 これらにより、いずれの施設も前年度から大きく利用者が増加し、平成27年度目標値を達成した。
--------------	---

指標①	梅小路公園朱雀の庭・いのちの森入園料及び貸室利用料金の合計額 (単位：千円)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		7,500		10,000	12,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	6,900	—	6,693	7,500	—	9,637

指標②	宝が池公園子ども楽園駐車場の利用料金 (単位：千円)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		17,000		17,500	18,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	16,000	—	17,355	17,000	—	18,681

目標2 「公益目的事業の効果・効率性の向上」

中期経営計画 における取組	公益目的事業の自律的な運営のためには、公益性を確保しつつも合理化と収益性の向上を図る必要があることから、年間100回を超えている緑化関連講習会等について実施内容を見直し、効果的・効率的な実施を図る。
------------------	---

当年度目標	平成27年度は、参加者数が伸び悩む講習会等の内容の見直しを大幅に行うとともに、緑を生かした健康づくりや希少種保全等、市民の関心が高い分野のテーマに重点を移す。
-------	---

当年度結果 (※)	参加者からの意見や要望等を踏まえ、一部講習会等の内容や実施回数を見直すことで効果的、効率的な事業実施に努めた。その結果、1回当たりの参加者数は平成27年度目標値を達成した。
--------------	--

指標	緑化関連講習会等の1回当たり参加者数 (単位：人/回)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		22.5		24.0	25.0
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	20.8	—	21.6	22.5	—	22.7

(公財)京都市都市緑化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(2)財務に関する取組

(単位:千円)							
主要財務数値	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	261,763	—	276,668	265,000	—	292,218	
経常費用	261,763	—	276,584	268,000	—	289,248	
当期経常増減額	0	—	84	△ 3,000	—	2,971	
当期正味財産増減額	0	—	813	△ 3,000	—	2,971	
資産合計	183,487	—	182,010	182,187	—	186,566	
負債合計	92,836	—	90,546	92,836	—	92,131	
正味財産	90,651	—	91,464	89,351	—	94,435	
うち累積損益額	40,651	—	41,464	89,351	—	44,435	

目標1「京都市からの補助金に頼らない運営」	
中期経営計画における取組	京都市からの事業補助金は、平成27年度以降は廃止されることとなる。これに対応して、イベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、その他受託事業、収益事業は新規事業を含めた収益拡大に取り組む。これらを通じて、京都市補助金はなくとも、幅広い市民・団体向けの公益目的事業を推進する財源を確立する。
当年度目標	平成27年度は京都市からの補助金交付が廃止されることを受けて、京都市以外からの受託事業の獲得、その他自主事業、寄附金収入の増加等により自主財源を確保する。 また、先行投資的な梅小路公園の設備改善による光熱水費の抑制、業務効率化、再委託比率の圧縮等に取り組む、コスト削減を徹底する。
当年度結果(※)	平成27年度は京都市からの補助金が全廃となったが、新たな受託事業の獲得や自主事業収益の拡大、及び利用料金収益の増加等により収益は前年度を上回った。さらに光熱水費の抑制や、再委託比率の圧縮等に努め、これらにより確保した財源により、公益目的事業に積極的に取り組んだ。 また、梅小路公園においては、京都鉄道博物館の開業による利用者の増加をにらみ、授乳室の設置や、屋外トイレの洋式化等の設備改善に投資した。

指標	京都市からの補助金額					(単位:千円)	
中期経営計画	平成26年度			平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—			0		0	0
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	26,334	—	26,334	0	—	0	

(公財)京都市都市緑化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2 「公益目的事業の水準の確保」	
中期経営計画 における取組	各種事業や寄附金の増収，経費の節減，及び公益法人の優遇税制の活用により，公益目的事業の水準を確保する。
当年度目標	公益目的事業の財源の一部となっていた補助金が廃止されるが，特に平成27年度は既存事業の見直しを行い，各種事業や寄附金の増収と経費の節減に努めることにより財源を補い，公益目的事業比率の低下を5%未満に抑える。
当年度結果 (※)	補助金は全廃となったが，既存事業の見直し等により，公益目的事業比率は9%上昇し，平成27年度目標値を達成した。

指標	公益目的事業比率				(単位：%)	
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		63		63	63
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	68	—	57	63	—	66

(3)組織に関する取組

目標「京都市からの派遣職員受入れの廃止と固有職員の育成」	
中期経営計画 における取組	京都市派遣職員の受入れを平成26年度末に廃止したうえで、京都市と連携しつつ自律的に事業を推進するため、派遣職員の役割を引き継ぐ人材、専門的技能を持った人材等の育成又は採用を行う。
当年度目標	京都市からの派遣職員の常勤役員兼務の廃止に伴い、独自に後任の役員を確保する。
当年度結果 (※)	京都市からの派遣職員（常勤役員兼務）の受入れを廃止し、後任に協会固有の常勤役員を確保した。

指標	京都市からの職員派遣受入れ人数						(単位：人)	
中期経営計画	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—			0			0	0
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	1	—	1	0	—	0		

(公財)京都市都市緑化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(4)その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」	
中期経営計画 における取組	都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信，京都ゆかりの希少な植物（和の花）とその生息環境の保全，その他公園緑地の価値を高める各種事業において，緑化関連団体，大学，企業，市民団体，地域団体，マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。
当年度目標	平成27年度は，京都の造園界との連携による国内外への庭園の情報発信，和の花を活かした緑化活動を行う地域団体・企業等への支援，梅小路公園20周年記念事業に重点を置き，当協会が主体となる事業で連携・協力する団体数を増やす。
当年度結果 (※)	昨年度試行的に実施した企業・団体CSR活動「京のエコロジカルネットワークプロジェクト」への技術的な支援及び企画協力を，平成27年度から本格的に実施した。この取組では，平成26年度18団体であった参加団体が，平成27年度は94団体と参加団体数は大きく増加した。また梅小路公園20周年記念事業では，当協会が主体となり，各協力団体や企業等と連携を図った。その他，造園団体等との連携による「京都の日本庭園」の国内外への情報発信のための企画会議を計8回開催するなど，みどりのネットワークの拡充に努めた。その結果，連携・協力する団体数は平成27年度の目標値を大きく上回った。

指標	当協会が主体となる事業で連携・協力する団体数						(単位：団体)	
	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度	
中期経営計画	—		130			140	150	
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	115	—	114	130	—	190		